

平成 29 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	中銀インテグレーション株式会社		ホーム名	中銀ケアホテル			ID	2730	
	評価機関	特定非営利活動法人 京都府認知症グループホーム協議会				評価日	2月9日		
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A	
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A	
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A	
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A	
1.2.1	B	B	2.3.7	B	B	6.2.3	A	B	
1.2.2	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	A	A	
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	B	
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A	
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A	
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A	
1.4.1	A	A	2.4.2	B	B	6.2.9	B	B	
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	B	A	
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A	
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A	
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A	
1.4.6	A	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A	
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A	
1.4.8	A	A	3.1.3	B	B	7.3.1	B	B	
1.5.1	A	A	3.1.4	B	B	7.3.2	A	A	
1.5.2	A	A	3.1.5	B	B	7.3.3	A	A	
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A	
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A	
2.1.2	B	B	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A	
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A	
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	B	B	
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	B	B	
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A	
2.2.5	B	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A	
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A	
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A	
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A	
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A	
2.2.10	A	A	5.2.3	B	B	7.5.7	A	A	
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A	
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A	
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A	

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
1 - 4 - 1	部門毎に職員研修計画を策定するとともに、全職員は毎年2月に面談し次年度の目標を設定している。さらに介護プロフェッショナルキャリア段位制度を導入し、個人毎の目標設定に対する達成度をアセッサー研修を受講した主任ヘルパーが毎月面談し評価を実施することで、職員の技術の向上とやりがいのある業務の推進に向けて取り組んでいる。
3 - 1 - 6	各棟にデイルーム及び談話室を設け、スタッフが日々のレクリエーションを実施している。またB棟の多目的ホールでは毎朝のラジオ体操及び機能訓練にて健康維持や自立支援に努めている。さらに同フロアには図書コーナーや喫茶スペースがあり、喫茶担当のスタッフを配置し入居者だけでなく家族も自由にメニューから選ぶことが出来るよう支援している。また、レクリエーションとして年間行事計画にて季節折々のイベントを提供するとともに、毎月2回の映画観賞やボーリング、カラオケ、風船バレー、書道クラブなどを定期的に開催するなど、入居者が趣味・趣向に合わせて自由に参加し、生きがいを持てるよう支援している。
6 - 2 - 8	毎月、中銀ケアホテルニュースを家族に送付し、行事やイベントの案内をすることで入居者と家族の交流の機会をもっといただけるよう支援している。また担当スタッフが入居者の日々の様子を記入し、ケアマネ、相談員が加筆して入居者毎のお便りを同封することで入居者と家族の関係性が途切れないよう努めている。さらに家族には面会時に職員が積極的に声かけを行うことで来館を促進できるよう働きかけをしている。
7 - 5 - 4	外出可能な入居者は年間行事だけでなく個別プランに組み込みダンスレッスンやマッサージに行くなど支援している。また介助が必要な方も春・秋の庭の散歩や、6階のウッドデッキでの外気浴など引きこもりにならないよう取り組んでいる。さらに寝たきりの方にも毎月の花火を居室から見てもらうだけでなく、リクライニングの車椅子に乗りかえて散歩やボランティアによるイベントの見学を促すなど日々の生活がより豊かになるよう一人ひとりに合わせた対応を心掛けている。
7 - 5 - 5	毎朝、朝食後のラジオ体操の後に機能訓練室にて専門のあんまマッサージ師が個別に機能訓練を実施している。また、寝たきりの方には居室にてマッサージを行うなど全入居者の機能向上に努めている。個別の機能訓練計画書は他職種が協働して月1回見直しをするなどPDCAサイクルに基づき実施されており、入居者の健康維持・増進につながっている。
◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
2 - 1 - 2	法人全体で単年度及び中・長期計画が策定されているが、ホーム独自の方針・計画の中に各部門毎のより具体的な計画が見られない。職員が積極的に事業運営に参画し、目標を持って取り組むことは職員のやりがいにつながると考えられる。各部門責任者が自ら課題を抽出し年度目標を定め、評価、見直しを行い、次年度の目標・方針・計画に繋げる取り組みをされることを期待する。
2 - 4 - 2	介護サービスマニュアルにて業務手順を定めるとともに、ホーム内30か所に設置し職員がいつでも確認することが出来るよう配慮している。マニュアルの見直しはその都度行われ、改訂及び追加がされているが全てのマニュアルに関して定期的な見直しが実施されていない。各マニュアル毎の改訂履歴管理票等の活用により定期的な見直しを実施し、より質の高いサービスの提供に向けた仕組みづくりが求められる。
5 - 2 - 3	食事に関して毎月のお楽しみ献立や選択食、さらにアンケート調査の実施により入居者の満足度向上に努められているが、A棟において適温での提供が出来ていない。ご飯、汁物の直前での配膳、食器での工夫などマンパワー等が必要ではあるが、食事は入居者の大きな楽しみの一つであることから検討をされることが望まれる。
6 - 2 - 5	プランの実施状況について、介護記録及びカンファレンスを行い他職種から情報を収集している。また入居者の意向はセンター方式の「心身の情報（私の姿と気持ちシート）」を活用し、家族様からは面会時に意向を聴衆していることが確認できた。ただしプランの見直し時にサービスの内容ごとの実施状況の把握及び評価が実施されていない。ケアマネジメントのPDCAサイクルの流れを確認し、課題分析、計画書原案作成、サービス担当者会議、計画書の作成・交付、サービス提供、モニタリング、再課題分析の実践と記録の整備に取り組まれない。